

KOBELCO

Performance X Design

勇往 邁進

50トン級大型建物解体専用機
SK550D_{LC}

130トン級超大型建物解体専用機
SK1300D_{LC}

建物解体機のパイオニア、コベルコが誇る、現場の頼れる相棒！
大型・超大型解体機に求められる性能をさらに磨き上げた新シリーズ登場！

そのパワーと、
スケールが、**時代を切り開く**

コベルコ建機株式会社

コベルコ建機ニュース

Oct.2025 Vol.270 秋季号

〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 コベルコ建設機械ニュース編集部 ☎03-5789-2112

www.kobelco-kenki.co.jp

コベルコ建機株式会社

KOBELCO

秋季号

Oct.2025 Vol.270

コベルコ建設機械ニュース



特集

現場の安全を支える人材育成を目指して
コベルコ教習所のアイデンティティ

コベルコ建機
公式SNSは
こちらから



X

Instagram



現場の安全を支える
人材育成を目指して

コベルコ教習所の アイデンティティ

コベルコ教習所は、2025年4月に設立20周年を迎えた。
教習を通じて現場の安全を支えるという使命のもと、
建機などの資格取得のみならず、さまざまな現業のニーズに応じて、
技能講習、安全衛生教育などを提供してきた。
現在、全国14拠点で事業を展開、これまでの総受講者は170万人を超える。
2025年1月からeラーニングを開始するなど、
時代の変化に対応しながら、社会の期待に応えている。

織田孝一＝取材・文 三浦泰章＝撮影
text by Koichi Oda / photographs by Yasuaki Miura



PART 1

TOPに聞く

一貫して追求してきたのは現場の安全を支えること

2025年6月、コベルコ教習所の代表取締役社長に澤乃里子が就任した。コベルコ建機グループとしては初の女性社長の誕生だ。澤はフロント担当として入社し、教習所の発展とともにキャリアを積み上げてきた。これまでの経緯、コベルコ教習所の考え方、将来像などを聞いた。

「コベルコ教習所の存在意義は、現場の安全を支えること。これは創業時から一貫しています。教習や資格取得を通じて現場での事故を減らし、安全を守ること社会に貢献しています」

澤はアパレルなどいくつかの業界でキャリアをスタートし、土木・建設業界についてはまったく知見がなかったという。しかしもち前のコミュニケーション力、課題を見つけると放っておけない性格で、徐々に教習所の改革にも携わるようになる。「教習所の社風や上司に恵まれましたね。改善したいことに気づき企画を出すと、自由にやらせてもらえました」。

まず取り組んだのは教習所の認知度を上げることだった。コベルコ建機の関係者向け教習所としてとらえられが



コベルコ教習所 明石教習センター

ちという課題があったからだ。

「グループ内の社員ですら教習所のことをよく知らない人が多かった。そこで社内報を制作して啓発したり、看板、新聞広告、ラジオCMなどによる告知に力を入れました」

その後、インターネット時代に入ると、澤はウェブサイトも任されるようになった。

「特に重要だと思ったのは、現場でその機械を扱うためにどんな資格が必要なのかを知ること。初期の頃は、それを知らないがゆえに無資格のままだった人が少なかったのも事実です。ネットではそうしたことも分かり

やすく伝えているつもりです」

現在、顧客の8割は法人で、業務に必要な資格を従業員に取得させることが主流だ。残りの2割は個人で、業務の幅を広げたり、転職を想定して資格取得を目指す人にも活用されている。

受講者本位の視点で 講習メニューを拡充

コベルコ教習所の強みの核にあるのは受講者本位の姿勢だ。「ショベルやクレーン以外の技能でも、ニーズがあれば講習メニューに加えています。これは、この教習所がまだコベルコ建機のカスタマーサポート部の一部署だった頃、『フォークリフト運転技能講習』を始めたのが一つの契機でした。建機のレンタル会社は建機だけでなく、フォークリフトも貸すことが少なくないため、教習の必要が見込まれたからです」。

こうした発想が講習メニューの豊かさ、多彩さにつながっている。ほかにも建機と直接関係のないものとしては

澤 乃里子

コベルコ教習所株式会社
代表取締役社長

2005年コベルコ教習所に入社。以来、教習所の新拠点立ち上げや基幹システムの導入、経営理念の浸透といった数々のプロジェクトを手がける。2022年業務部業務部長、23年取締役を経て、2025年6月から現職



PART 1

TOPに聞く

『床上操作式クレーン運転技能講習』、『はい作業主任者技能講習』などの講習もある。

こうした受講者本位の姿勢は、法改正への迅速な対応にも表れている。



建機メーカーゆえに、さまざまな最新機種の建機がラインナップ可能

「法改正があると、新たな資格や教育が必要になることが多く、講習メニューも増やします」

例えば2014年に労働安全衛生規則が改正され、林業機械運転が規制対象となったことから、『林業機械運転特別教育』の講習を始めた。また2023年にはやはり同規則の改正によって『テールゲートリフターの操作の業務に係る特別教育』が義務づけられたことから、そのための講習を用意した。

「また、あらゆる分野で安全や衛生の需要が増しているため、専門業務ごとに安全衛生教育を提供しています。個々の企業でも安全衛生教育を実施することは可能ですが、現実には中小企業では難しく、またコンプライアンス意識の高まりもあって、教習所に任せてくださるケースが多いですね。安全衛生教育はメニューも受講者数も急増しました」

日程の多様さ、柔軟性も、受講者視点に立った強みといえる。「ほとんどのお客様は日常の業務を続けるかたわら、時間を確保してなるべく早く資格を取りたいと思っているものです。そ

れには同じ講習を複数の曜日で受講できることが望ましい。この点には非常に力を入れ、知恵を絞って講習スケジュールを設計しています」。

これらの強みの土台となっているのが、コベルコ建機ブランドへの強い信頼だ。「コベルコ建機グループが教習を始めたのは、分社化される前の1962年からです。この長い歴史、そして、これまでの総受講修了者数170万人以上という実績が信頼の礎となっています。会社の先輩や上司が教習を受け、今度は自分が受けるという継承事項になっている企業もあります」。

より広く講習を提供するため、eラーニングを開始

時代の変化に対応した新機軸も打ち出している。

「最近では、法令の枠を超え、技能や職種にこだわらない『危険体感教育』を始めました。これはさまざまな設備・機器を使い、危険を自分の体で安全に体験できるという内容です。痛み、衝撃などを実感すると、より真剣に安全を考える契機になります。これは“現場の安全を守る”という当社のアイデンティティにも直結するものだと思います」

教習所は現在、運転資格取得のための実技教習、技能講習、特別教育および安全衛生教育合わせて53講習を提供し、拠点は全国14道県に11センターを設置している（サテライト会場を含めると14拠点）。「さらに地域を広げて講習をしたいと考えていますが、

拠点を増やすことはなかなか難しい。そこで2025年1月からeラーニングを開始し、特別教育、安全衛生教育をウェブ上で受講できるようにしました。今後もeラーニングのメニューを増やしていきたいと考えています」。

言うまでもなく、建設・土木業界の喫緊の課題は労働力不足だ。それを反映して外国人の受講者も増えている。

「しかし、対応しなければならない外国語が多岐にわたる、日本語会話ができて専門用語をよく知らない、母国に労働安全衛生法の概念がない、といったことから、資格取得へのハードルはまだ高く、講習における課題となっています」

女性受講者も増えたが、それでも全体の5%ほどだという。「将来、遠隔操作などの技術が高まれば、女性や高齢者にも活躍の可能性が広がりますが、それでも現場体験は欠かせません。そうすると現場を体験してもらう講習も新たに必要になるのではないのでしょうか」。

どれほど機械が発展し、安全度が高まっても、新たな形の安全が求められるようになる。「そこには作業する人間の意識、行動様式が関係しています。そうしたことも含め、安全を守り、事故を減らすことは、これからもコベルコ教習所の重要な存在意義であると思っています」。

安全を支えるのは人材育成のクオリティーです



PART 2

コベルコ教習所 ココが魅力①

半世紀以上の歴史をもち、多彩な講習メニューで現場ニーズに応える

豊富な講習メニューで安全を支える

コベルコ教習所の前身は1962年に設立された神戸製鋼所の神鋼建設機械大久保教習所と、それに続いて設立された油谷重工広島製作所の油谷特殊車輛技術教習所だ。その後、全国各地に教習センターを開設し、2005年にコベルコ建機から分社化され、コベルコ教習所株式会社としての第一歩を踏み出した。

以降、着実に拠点を増やし、現在、全国14道県に14拠点（11センター、3サテライト会場）を有している。講習メニュー数は分社化される前は15講習程度だったが、現在では53講習まで増やした。

講習は大きくは3種類からなる。免許証や技能講習修了証などを取得するための「実技教習・技能講習」、労働安全衛生法第59条第3項に定められた「特別教育」、労働安全衛生法第60条および60条の2に定められた「安全衛生教育」である。

この講習メニューの豊富さが教習所

の大きな魅力であり、“資格を取るならコベルコ教習所”という評判につながっている。「現状の申し込みは6割がウェブサイトから。少人数の場合でも予約があれば講習を実施しますし、当日の申し込みでも空きさえあれば実施します」（拠点統括部 営業企画グループ グループ長の堀江雄樹）。

講習品質を標準化し、充実させる

コベルコ教習所の講師は170人以上に及ぶ。10年ほど前まではコベルコ建機からの出向者が中心だったが、現在は8～9割が社外から採用した人材だ。技能講習を指導する講師となるには、資格取得後約5～10年以上の実務経験が必要条件。ここにはそうしたプロが集まっているわけだ。

「講師には、時間管理や受講者への指導姿勢など、規範の面でも厳しい要件を課しています」（拠

点統括部 部長の土岐吉輝）

講師の職歴が多岐にわたるため、コベルコ教習所では2023年までに約5年をかけて講習品質の標準化、その充実を図った。実技要領を作成し、主要テキストを内製、補助教材のパワーポイントやDVDの内容も統一。さらに講師にはTTC（コベルコ建機 神戸テクニカルトレーニングセンター）のeラーニング講座を受講してもらうことで、機械の構造など常に最新の知識を保持できるようにした。TTCとの連携はこれに限らず、今後もさらに推進される予定だ。



実務経験があるプロであることはもちろん、最新の機械構造や指導姿勢を常に学び続ける講師たちによって、標準化された多彩な講習メニューを提供する

堀江雄樹

拠点統括部
営業企画グループ グループ長



土岐吉輝

拠点統括部 部長

PART 2

コベルコ教習所 ココが魅力 ②

建機メーカーだからこそ 新しい機械や安全衛生教育への対応

高性能林業機械の 講習で貢献

コベルコ教習所にとって、建機メーカーならではの強みが、講習の内容にも表れている。

象徴的な例が、『林業機械運転特別教育』だ。日本の林業はチェーンソーに頼る時代を経て、高性能林業機械を導入して安全に生産性を高める時代へと進化している。コベルコ建機では伐採、集材などの作業を行うための林業機械を開発しているが、林業での労災事故は多く、2014年の法改正によって、林業機械を運転するには特別教育の修了が必要となった。

「林業機械の講習をする機関は全国にそれほど多くはないですが、コベルコ教習所では講習を実施しています。また、各県の林業協会の講習は遠方で開催されることが多く、ユーザにとってアクセスしづらい点も挙げられます。そんなとき当教習所とコベルコ建機で共同事業ができないかという話がありました」(土岐)

講習では、安全な操作、基本的知識

を教えることに力を入れた。実技に最新鋭の林業機械を使えるのもメーカーだからこそその強みだ。講師がより深い知識を習得できるよう、コベルコ建機とアタッチメントメーカーから人を招き、勉強会を開いて機械の操作を学ぶ

の死傷者数は増加している。「これは建機の進化、コンプライアンス意識の浸透、法整備などが功を奏して死亡者が減る一方、危険に対する感受性が低下したためと考えられます。そこで、特殊な装置・設備を使って、安全な状



1. 林業機械をはじめ、掘削などさまざまな現場に即した建機が揃えられるのもメーカーならではの強み 2. 危険体感教育のための機器。上／感電体感、下／重量物挟まれ体感



ところから始めた。この講習によって現場では労災の削減、コベルコ建機にとっては高性能林業機械の普及に役立つことが期待される。

講習は、明石と市川の教習センターで始め、尼崎、岐阜、熊本、北海道でも実施している。今後さらに増やしていく予定だ。

危険を疑似体験し、 安全へと活かす

『危険体感教育』は近年、注目される安全教育の一つである。労働災害のデータを見ると、死亡者数は長期的には減少傾向にあるが、休業4日以上

態で、滑り転倒、落下物衝撃、巻き込まれる、挟まれるといった経験を体感できる『危険体感教育』を提供しています」(堀江)。

座学や体験談を聞くことにとどまらず、自ら体験をすれば、危険への感受性や予測能力が高まるという効果がある。「各企業にはそれを活かして安全対策を改善していただければ、と思っています」と堀江は想いを語る。

『危険体感教育』は2025年度から開講し、下期(10月～)から明石教習センターで定期開催がスタートした。2026年度からはほかの拠点でも定期開催する予定だ。

危険
体感教育には、
今後注力
していきます

PART 2

コベルコ教習所 ココが魅力 ③

受講者の視点でつくり上げた フレキシブルなスケジュール体制

柔軟な講習日程によって 受講者ニーズに応える

コベルコ教習所では、受講者がそれぞれの都合に合わせて利用しやすくすることに注力している。特に免許証や講習修了証がすぐに必要な人は、なるべく短期間に講習を終えたいと考えるからだ。

一般的な受講の流れは、予約、申し込み、受講となっているが、講習を終えると即日で修了証を交付するもの、すぐに業務に入りたい受講者にはありがたい仕組みだといえる。

受講者の利便性に配慮し eラーニングを整備

コベルコ教習所には常により多くの

地域の方々に講習

を提供したいという

想いがある。「し

かし教習センター

から遠い地域の方

が受講するには、

移動時間や費用の

負担がどうしても

大きくなります。

そこで地理的、時

間的な制約に縛ら

れない手法として

2025年からeラーニ

ング講習を開始し

ました」(堀江)。

現在のeラーニン

グの講習メニュー

は労働安全衛生法

にもとづいた特別

教育4種類と、安

全衛生教育1種類

で、具体的には

『粉じん作業特別

教育』、『酸素欠

乏・硫化水素

危険作業特別教育』、『石綿使用

建築物等解体等特別教育』、『足

場の組立て等作業従事者特別教

育』、『振動工具取扱作業安全衛

生教育』というラインアップだ。

2025年11月に『フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業に係る特別教育』の開講を予定し、25年度中には『自由研削といしの取替え業務等特別教育』の追加を計画している。今後も新しい講習を増やしていく予定で、受講者の利便性拡大を目指している。「多忙な方々、拠点から遠方に在住の方などのお役に立てればと、期待しています」(堀江)。

将来に向けて 課題に取り組む

eラーニングに加えて外国語での講習にも取り組んでいる。外国人労働者の増加に伴う対応だが、現時点ではベトナム出身の労働者が多いため、2年ほど前からベトナム語での講習を定期開催している。

また、近い将来に向けてシミュレーターやVR設備の導入も視野に入れている。

土岐は、受講者が単に教習所の顧客で終わらず、コベルコ建機のファンになってもらえるようにしたいと語る。

「そのためにも、常に私たちが笑顔で働ける職場づくりを心がけています。それがコベルコ建機のブランド価値を高めることにもつながると考えています」。

eラーニングを
活用して、
さらなる利便性アップを
目指します



いつでも、どこでも、スマホからでも受講可能なeラーニングは、場所や時間の制約を超えてコベルコ教習所の講習が受けられる。今後も新講習がぞくぞく誕生予定

そのため、講習メニューを豊富に揃えるだけでなく、土日にも開講したり、同月に複数回の同じ講習を用意するなど、柔軟なスケジュール設計をしている。

危険作業特別教育』、『石綿使用建築物等解体等特別教育』、『足場の組立て等作業従事者特別教育』、『振動工具取扱作業安全衛生教育』というラインアップだ。

大内宿〔福島県〕

半農半宿の営みを 今に伝える宿場町

福島県南会津郡下郷町の山あいひっそりと開けた集落・大内宿。
分厚い茅で葺かれた屋根の家々が、かつての街道に沿って整然と並び、
江戸時代の面影を今も色濃くとどめている。
人々の暮らしが加速度的に変化し続けるこの時代にあって、
なぜこの集落だけが、かつての風景を守り抜いてこられたのか。
その答えを探しに、大内宿を訪ねた。

砂山幹博＝取材・文 田中勝明＝撮影
text by Mikihiro Sunayama / photographs by Katsuaki Tanaka

会津の要衝として整備された 半農半宿の宿場町

会津地方の歴史と文化の中心地・会津若松から南へ車で約1時間。山あいの田畑の中に、茅葺き屋根の家々が並ぶ集落が現れる。江戸時代の下野街道（会津西街道）の宿場町として整備された大内宿だ。

会津若松と日光・今市宿（栃木県日光市）を結ぶ約130kmの下野街道は、会津藩と隣国とを結ぶ主要街道の一つで、主に参勤交代や廻米（国許から江戸へ送られる米）の輸送に利用された。

大内宿は会津若松から3つ目の宿場町で、人馬の乗り換えや荷物の中継地として、多くの人や物が行き交う要衝として機能した。参勤交代の折、朝に

城を出発した会津藩主一行は大内宿に昼頃に到着したため、昼食や休憩の場として重宝されたようだ。

源平合戦の時代、後白河天皇の第三皇子・高倉宮^{もちひと}以仁王が平家の追手から逃れる途中、この地に立ち寄ったという伝承がある。記録で確認できるのももう少し後のことで、1590年に小田原へ参陣する伊達政宗軍が大内村まで来た記録があり、この時点で人馬の通れる街道が存在していたことが分かる。

大内宿が本格的に宿場町として整備されたのは17世紀前半とされ、以降、人口が増加。1746年には78戸404名を数え、最盛期を迎えた。

下野街道は、会津藩が整備した本道五筋の一つで、政治的にも経済的にも重要な街道だった。しかし、大内宿で

は、参勤交代や物資の輸送による収益はあったものの、東海道のように頻繁な往来があるわけではなく、宿場業だけで生計を立てるのは難しかった。そこで住民たちは、街道に面した家で旅人を迎えつつ、裏手の畑では大豆や野菜を育てる「半農半宿」の暮らしを営んでいた。

こうした生活のあり方は、今も町並みに色濃く刻まれている。集落を貫く下野街道沿いには主屋が整然と並び、宿場町らしい景観を形づくっているが、裏側には農道が通り、さらに集落を囲むように田畑が広がる。街道と農地、双方に開かれたつくりが、大内宿がかつて宿場であると同時に農村でもあったことを物語っている。

旅人が行き交い、参勤交代の際には

数百人規模の往来でにぎわった大内宿にも、やがて衰退のときが訪れる。

孤立の時代を経て保存の道へ

大内宿は、時代の流れとともに徐々に活気を失っていった。1830年代の天保の大飢饉以降、東北地方で飢饉が続き、耕作放棄や離村が進んだ。1844年に東廻り航路が開通して廻米の運搬ルートが変わり、下野街道の利用が減ったことで大内宿の経済は大きな打撃を受けた。1884年に会津^{さんほう}三万道路が開通し、大内宿は交通の中心から外れた。その後、山形県米沢市と栃木県宇都宮市を結ぶ国道121号も通り、交通の便が良くなったことで、宿場町としての役割が失われた。往来はなくなり、人口減は深刻化した。まさに最悪

ともいえるこの状況が、皮肉にも集落の運命を大きく動かすことになる。

高度経済成長期（1955年～73年頃）、日本各地で都市化が急速に進むなか、伝統的な町並みや農村風景の保存への関心が一気に高まった。1967年、武蔵野美術大学の学生だった相沢韶男氏（後に教授）が大内宿の保存を文化庁に訴え、住民にもその価値を説いた。そ

の熱意が文化庁や福島県、下郷町を動かし、1981年に大内宿は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。また、この経過で発足した保存会は「売らない・貸さない・壊さない」の三原則を掲げ、今も住民主体の保存活動が続けている。

大内宿は、街道と建物が一体となり、江戸時代の宿場町の姿を今に伝える全



江戸時代に本陣の代わりとして大名や役人の休憩・宿泊所として利用された阿部家主屋の「表二間」



整然と軒を並べる家屋



1.旧街道に沿って立つ「一の鳥居」は、平安時代、平氏に追われてこの地に身を潜めたという高倉宮以仁王を祀る高倉神社への参道の入口 2.毎年7月2日に高倉神社で行われる「半夏（はんげ）祭り」は、高倉宮以仁王をしのぶ大内宿最大の伝統行事。集落全体が祭り一色に包まれる



2



二間続きの座敷「表二間」と縁側を利用した店が軒を連ねる。店先には、空地の「オモチ」が広がり、通りに開放感をもたらしている

File.72

歴史的建造物誕生の秘密を探る！



約20年周期で行われる茅葺き屋根の葺き替え。風雨にさらされ傷みやすい屋根の頂部「グシ（棟）」をつくる様子



1.店先を横切る水路。藩政期には街道の中央に1本の水路があり、住民の生活を支えていたが、1886年に、道路の両側にそれぞれ1本ずつという現在の形になった 2.かつて本陣があった場所に建つ「大内宿町並み展示館」。江戸時代の暮らしや風習を伝える民具などを展示する。建物の図面がないため、同じ街道の糸沢宿や川島宿の本陣を参考に復元された

国でも珍しい町並みだ。街道沿いの約450mにわたって、茅葺き屋根の木造家屋が壁面線を揃えて並ぶ。敷地は間口6～7間（約10.5～13m）、奥行きが30～33間（約55～60m）とほぼ統一されている。

主屋は街道寄りに建ち、通りに面して「表二間」と呼ばれる二座敷分の客間を配置。その奥に「へや」「なんど」「かって」「どま」といった生活空間が続き、半農半宿の構造を残している。主屋と街道の間には、かつて荷の積み替えなどに使われた幅約6mの空地「オモチ」があり、この空間が町並みに独特の開放感を与えている。通りに並ぶ

46軒の主屋のうち、36軒が江戸から明治にかけて建てられ、文化財として保存対象となっている。昭和以降の建物も、古い家屋の意匠に合わせて町並みに調和している。

住民の手で守る町並みの未来

集落の保存は建物だけでなく、住民の暮らしとも深く結びついている。なかでも町並みの象徴ともいえる茅葺き屋根は、美しさだけでなく厳しい気候に適した実用性も兼ね備え、保存の要となっている。

この地域の茅葺き屋根は、茅を1m

以上重ねた急勾配の屋根で、断熱性と耐久性に優れ、雪深い地域の暮らしを支えてきた。しかし、約20年ごとに葺き替えが必要で、その費用は数百万円単位にのぼる。加えて、担い手である茅葺き職人の高齢化や人手不足も深刻な問題となっている。

多大な労力を要する茅葺き屋根の葺き替え作業だが、大内宿では古くから根づく「結」の精神によって、その営みが支えられてきた。「結は、組織的な仕組みというよりも、助け合いの気もちが自然と行動に表れた地域特有の慣習です。誰かが困って

いれば、まわりが手を貸し、それが巡り巡って戻ってくる。つまり、人の心そのものなんです」と、大内宿保存会の阿部正美さんは話す。

茅を葺く職人だけでなく、地域の住民たちもそれぞれの役割を担い、茅の刈り取りや運搬、補助作業を分担し、技術と景観の継承に力を注いでいる。

とはいえ、課題は少なくない。屋根に使われる茅にはススキ、チガヤ、ヨシなどがあるが、大内宿では主にススキを使う。休耕田を活用した茅場で育てているが、自給できるのは必要量の半分ほど。残りは外部からの調達に頼

り、供給面で不安が残る。

空き家の増加も深刻な問題だ。定住者の減少が進み、新たな住民の受け入れが不可欠となっている。これまで「貸さない」とされた保存三原則の一部も、今の状況に合わせて見直されつつあり、将来に向けて住民主体の話し合いが重ねられている。

茅葺き家屋を良好な状態で保ち続けること。それは町並みの景観を守るだけでなく、大内宿という集落の未来を築く土台そのものであり、その意識は住民一人ひとりに深く根づいている。

阿部さんら保存会の長年の尽力もあ

り、現在の大内宿には年間約100万人の観光客が訪れる。かつての半農半宿の営みこそ失われたが、茅葺きの古民家には土産物店やそば屋が軒を連ね、人々を迎え入れる民宿もある。大内宿は、暮らしのなかで今も息づく「生きた文化遺産」として、世代を超えて受け継がれている。

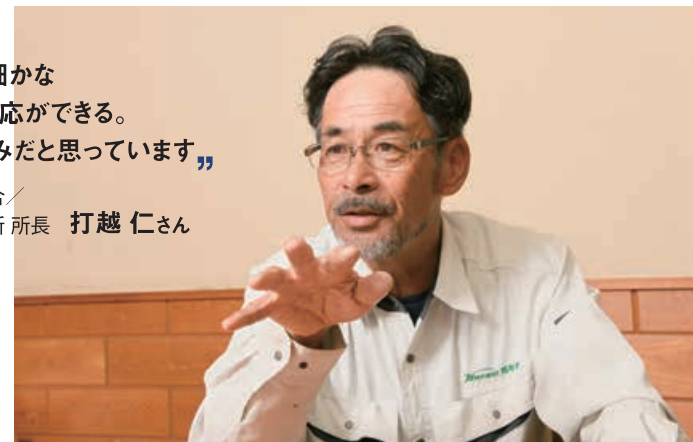
春の山桜と新緑、夏の蝉しぐれ、紅葉に染まる秋、雪に包まれた静かな冬。季節ごとに異なる表情を見せる大内宿は、訪れるたびに、過去と現在が静かに交差する、かけがえのない時間を私たちに届けてくれる。



グラップルで木材をつかみ、なめらかな動きで作業する。SK210DLCハイキャブ仕様機

“市場として細かな地域対応ができる。それが強みだと思っています”

西牟婁森林組合／
田辺木材共販所 所長 打越 仁さん



●今回の訪問先は
西牟婁森林組合／田辺木材共販所
所在地／和歌山県西牟婁郡
上富田町生馬316-5
☎0739-47-3939

いこともストレス軽減につながります。また、排土板がない場合、地面で丸太を揃えることになってしまいますが、小石が入ってしまうなど製品を傷つけるリスクが大きくなるので、排土板は大変役立っています」と、木材を扱う現場ならではのメリットをあげてくれた。

こうした機械化によって作業効率を高めている共販所だが、売り上げのピークは30年ほど前だという。

厳しい環境のなか、 地域密着の姿勢を堅持

「日本の家屋の構造も変わってきました。仏間や客間は少ないですし、ヒノキやスギの枠がアルミになったり、集成材による新建材のボードや外材を多用したり。従来の国産無垢材の需要は減少する一方ですね」と打越さんは国内林業の現状を受け止める。

また、補助金や助成金をベースとする森林組合という性格上、ときの政策による影響も受けやすく、事業環境も厳しさを増すという。

そんな状況にあっても、「一番の強みは地域に深く根づき、地域の要望に細かく対応できる点であり、広域合併後もこの地域密着の姿勢は変わりません。製品には自信をもっていますし、別の販売ルートを模索することはありません」と、打越さんは語る。

また、一次産業である林業においては少子高齢化の荒波のなか、人材確保という課題に対してもさまざまな取り

組みを行っている。機械化推進による作業負担の軽減はもとより、年間休日の増加、安全対策の徹底などに加えセリ市の開催日を火・水・木曜日にしている。これは月曜や金曜だと、週末出勤の可能性が高まることへの対策だ。

こうした細部にまで目の届いた職場改善をすすめる打越さんは、今後の林業に関して次のように話してくれた。「Jクレジット制度のように森林を維持することに金銭的価値が生まれる動きもあり、林業を取り巻く環境は複雑化しています。また、バイオマスエネルギーなど新しい用途への展開も期待されています。そうした環境のなかで、当組合としては勤務条件を時代に即してアップデートし機械化を進めるなど、より魅力的な職場環境を整備し続けることで、『地域に貢献したいという人材』とのマッチングを目指していきます」



オペレータ歴30年以上という木村幸雄さん。「グラップルが大きくなったことで丸太をつかめる量も重さも約2倍になりましたが、重機のパワーが強いため安定感がありません」

地域を愛し、これからの林業の可能性に触れるこうした言葉から、打越さん、ひいては西牟婁森林組合の強い想いが伝わってくる。共販所ではさらなる効率化を視野に、現在ヤードで稼働している機械を順次新しくしていく予定だ。このような前向きな姿勢は、地域での存在感を高め、職場としての魅力向上につながるはずだ。

丸太の径を採寸しやすいように先端を揃える。要望通りの大型の排土板は非常に使いやすいとオペレータの木村さんにも好評



経営のヒント

地域密着編

和歌山県西牟婁郡上富田町
西牟婁森林組合／
田辺木材共販所

共販所の作業効率を高める SK210DLCハイキャブ仕様機

複数の組合が合併して、現在の西牟婁森林組合が設立されて51年目。田辺木材共販所は、2026年に設立50周年を迎える。「ここは地域の中心である田辺市近郊にありながら、街中からはちょうどいい距離で離れていて山にも近い。また運もあるのかもしれませんが、組合が管轄するエリアでは害虫が樹木を食べ

継続的な機械化を進め より魅力的な職場を目指す

県土の約7割を山林が占める和歌山県。林業が盛んな紀南地方にある西牟婁森林組合は山林所有者から委託を受けて、植林、育成、間伐、保安林の保護などを通して森林整備を行っている。そして伐採された木材の販売を担う最終的な部門が、田辺木材共販所。グラップルを付けた油圧ショベルの積極活用で効率化を図り、市場として価値を高めている。

大霜佳一＝取材・文 三浦泰章＝撮影
text by Yoshikazu Oshimo / photographs by Yasuaki Miura

てしまうあかね材の被害も少ない。そうした地域性もあって、長きにわたりこの地で人材も育ち、技術も積み重ねられて発展してきました」と語るのは、田辺木材共販所・所長の打越仁さん。

扱うのはスギ・ヒノキを中心とした紀州材。伐採されて運び込まれた木材を丸太の形に整えて、セリ市を行い業者に販売する。

そこで活躍するのが丸太をつかむためのアタッチメント、グラップルを付けた油圧ショベルだ。この春、コベル

コ建機のSK210DLCハイキャブ仕様機を導入した。丸太を高く積み上げるためにハイキャブ仕様は必須。また、丸太の頭を揃えるために垂直型の大きめの排土板が取り付けられた。

共販所でのオペレータ歴が30年以上になるという木村幸雄さんは「以前使用していたものよりグラップルが大きくなったため、丸太をつかむ量が倍くらいになりました。つまりトラックから木材を下ろすなどの作業スピードが倍になったということです。振動が少な



複数のクレーンとともに
物流倉庫の建設現場で稼
働するSL6000J



“機械をコントロールする
人間とチームが最も大切。
誰もが安全を確保できる
体制をつくることを重視しています”

代表取締役社長
鶴岡卓さん



●今回の訪問先は

東京重機株式会社

所在地 / 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-2

☎ 03-3356-5211 (大代表)

<https://tokyojuki.com/>



1.「どうすれば手元作業者が作業しやすいかを常に考えています」と、オペレータの國安さん。2.「オペレータ同士や他部署とのコミュニケーションが活発なので、とても働きやすい会社です」と、オペレータの瀬尾さん。2人のコメントからは良好なチーム力が伝わってくる

今回取材させていただいたのは、千葉県湾岸エリアに新設する物流倉庫の建設現場。ここではコベルコ建機製クレーンSL6000Jが2台稼働していた。「SL6000Jに限らずコベルコ建機のクレーンは旋回ブレーキ性能が非常に高いですね」と語るのはオペレータ歴31年という瀬尾義昭さん。オペレータ歴30年の國安良人さんも「ブレーキが滑らかに利くので荷ぶれが起きにくく、操作性が高いと感じています」と、評価していただいた。冷却水や作動油などの日常点検がしやすい点もメリットだという。

多様な人材の拡充、 安全の徹底で競争力を強化

大型クローラクレーンは、搬入、組み立て・解体から現場作業に至るまで、多くの人員が必要となる。それだけに同社ではチームで取り組むことを会社

の基本姿勢としている。例えば作業に入る前には営業、オペレータなどからなるチームでプレミーティングを行う。「営業はお客様からの情報を収集するとともに、プロジェクトリーダー的な役割を果たし、案件の特徴、作業ルールやスケジュールなどをチームで共有しています」（鶴岡さん）

創業時から力を入れてきた安全面については、大型案件を重ねることさらに一段高いレベルを目指すようになったという。

「安全部の業務を拡充し、例えばクレーンのワイヤーを一本ずつアワーメータで管理するなど、徹底しています」と鶴岡さんは胸を張る。

また2019年には社内イントラサイトをリリースし、安全マニュアルや機種ごとの技術情報、自社作成の事故事例などの動画をスマホで確認できるようにした。さらに月一回の安全会議をリモート化し、対面できない作業員も参加できるように改善した。

人を大切にする姿勢は、現場作業の品質向上にも大きな影響を与えている。「先輩、後輩にかかわらず、現場でなかあったときにはフォローしあえる体制は非常に心強いですね」（瀬尾さん）。「お互いのために」という気もちで働けることで、作業に対する責任感とやりがいを感じます」（國安さん）

またオペレータを1人にしない努力も同社の特色だ。クレーン1台の現場では社内の仲間が誰もいない状態で孤

独になりやすいもの。そこで会社への帰属意識、チームワーク醸成も視野に、安全大会などのイベントを増やすとともに、家族への誕生日ギフトなどを含めた心づかいを形にしている。「これからの時代に生き残る会社は、人が集まる会社だと思います。人を集めるために、この業界、そしてこの仕事を知ってもらいたいですし、当社の魅力を伝えたい。コベルコ建機には、オペレータが能力を発揮しやすくサポートしてくれる重機をどんどん送り出してほしいと思っています」

この現場ではPC工法による建設資材のつり上げ、つり下げを担う



経営のヒント

チーム力向上編

東京都渋谷区
東京重機株式会社

大型クローラクレーンを武器に、 名だたる大型案件で実績

東京重機株式会社は、高度経済成長期の真っ只中、最初の東京五輪前年の1963年に創業。現在、代表取締役を務める鶴岡卓さんは、創業者である祖父から数えて三代目に当たる。

「創業以来、『安全を第一に考えるとともに、お客様と常に課題を共有し、解決に向けて全力で努力していく』こ

人とチームを大切に育み、 大型案件を手がけて成長

東京重機株式会社はクレーンとオペレータを建設現場に派遣するリース・レンタル事業で成長、多くの大規模案件で実績を上げてきた。その背景には、「人」を大切に、どんなときも1人ではなく「チーム」として取り組んでいくという社としての基本姿勢がある。さまざまな施策を練り出し、人が集まる会社を目指して常に前進し続けている。

織田孝一＝取材・文 三浦泰章＝撮影
text by Koichi oda / photographs by Yasuaki Miura

とを经营理念とし、大型クローラクレーン保有を最大の強みとして事業を進めてきました」と鶴岡さん。

これまで東京ドーム、横浜国際競技場、有明アリーナをはじめ、モンゴルのウランバートル市高架橋建設など国内外の数多くの大型建設現場で活躍し、高い評価を受けてきた。

同社が最初にコベルコ建機製クローラクレーンを導入したのは2009年。「当時最新モデルの500t級、

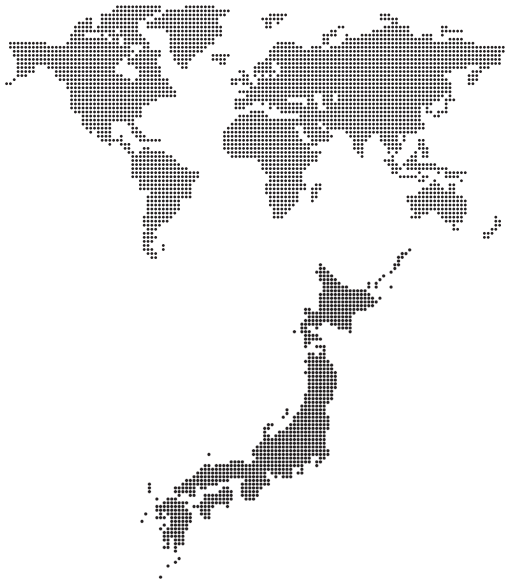
SL6000Jを2台導入しました。リーマンショック後で、業界全体が設備投資に消極的だった頃ですが、この機械抜きでは不可能な仕事を受注したことが最大の理由です」。

これを皮切りに現在はSL4500J (350t)、7200G (200t) など14台を所有する。さらにお客様ニーズに応えるべくラフテレーンクレーン、トレーラー、トラックなどによる輸送業務にも事業を拡大している。



【コベルコの風】

日本全国、そして世界各国での
コベルコの活動をレポート！



バージョンアップ
詳細はこちらから

Wind 2 from

愛知

Aichi

低炭素水素モデルタウン実証事業に参画します

愛知県の「知多市における低炭素水素モデルタウン実証事業」（以下、本事業）に、コベルコ建機が共同実施者として参画し、工事現場において水素燃料電池ショベルへの水素供給や本格稼働を検証する実証実験を行います。

本事業は17の企業等が参画し、全国一の設置数を誇る水素STを拠点に地域資源を活用して製造・調達した低炭素水素を街利用分野の需要先へ効率的に供給することや、水素供給の低コ

スト化、水素STの自立化への貢献などを目的に実施。コベルコ建機で現在実用化に向けて開発を進めている水素燃料電池ショベルを、実際の工事現場で稼働させることで、今後の本格展開へとつなげていきたいと考えております。

2021年から水素燃料電池ショベルの実用化に取り組み、2023年3月に試作機を完成させ、現在は連続掘削作業などの稼働評価を行っている水素燃



現場稼働による実証を進める水素燃料電池ショベル

料電池ショベルの実用化を進めるとともに、水素利用のさらなる拡大を目指し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

Wind 1 from
コベルコ建機
Kobelco

クレーン施工計画策定支援ソフト「K-D2 PLANNER®」
最新バージョンをリリース

3D-CAD（Autodesk社製「Revit」※1）のクレーン施工計画策定支援ソフト「K-D2 PLANNER®」のバージョンアップ版（AJ1.4.1.2版）をリリースしました。

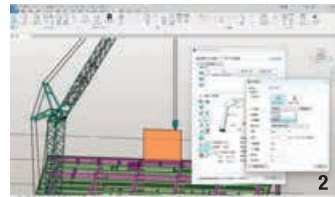
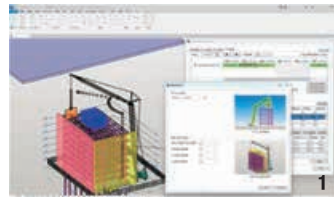
「K-D2 PLANNER®」は、直感的なクリック操作でクレーンのつり荷姿勢を作成し、その姿勢での負荷率や平面図、断面図などを作成できるシミュレーションソフトです。エビデンスを残しながら、3D施工ステップ図を作成できるので、現場とのイメージ共有が確に行え、手戻り防止や、最適なクラスのクレーン選定が可能になるなど、施工計画の精度向上や策定時間の短縮、コスト削減を実現します。

今回のバージョンアップでは、画面

上で、クレーンの玉掛けと玉外しの姿勢を設定するだけで、運搬経路の工程を自動生成できる機能を新たに搭載。事前につり荷が干渉しないかの確認が行え、加えて関係者間で運搬経路についてより具体的なイメージがもてるようになるので、安全で効率的な施工計画の策定に役立ちます。また、つり位置を任意指定できる機能を追加し、利用するクレーンの能力や運搬経路の確認がよりの確に行えるようになりました。

建設現場だけでなく、プラントや橋梁、設備など、クレーンによるつり作業を行う方にさらに便利な機能が追加された最新の「K-D2 PLANNER®」をぜひお試しください。

※ 1 Revit は Autodesk 社の登録商標です。



1.必要情報を入力し、運搬経路を自動生成する機能を新搭載
2.つり位置の任意指定も可能に

※記載されている情報は発表時のもので、予告なく変更される場合があります。

Wind 3 from
コベルコ建機日本
Kobelco

コベルコ建機日本が
新オフィスへ移転しました

2025年10月1日、コベルコ建機日本株式会社の本社をこれまでの千葉県市川市より東京都江東区青海にあるダイバーシティ東京へ移転しました。

今回、移転の対象となるのは企画管理部やDXソリューション部、マーケティング本部などの部署で、カスタマーサポート本部とカスタムセンターはこれまで通り千葉県市川市にて業務を継続いたします。

これまでと変わらず、今後もお客様により良い製品、サービスをお届けしていきます。

【移転先】〒135-0064
東京都江東区青海1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー14階
TEL：03-5579-4490 FAX：03-5579-4491

Wind 5 from

東京

Tokyo

「こども霞が関見学デー」に出展しました

2025年8月6～7日、文部科学省をはじめとする各府省庁が連携して実施する、子ども向けの夏休みイベント「こども霞が関見学デー」に出展しました。

本イベントは、子どもたちが社会や政府の取り組みについて理解を深めるとともに、親子のふれあいを促すことを目的

としています。コベルコ建機グループのブースでは、「K-DIVE®」シミュレーター、おもちゃのショベルに乗ってカプセルをすくうコーナー、コベルコ神戸スティーラーズカラーのミニショベル乗車体験、VRを用いた溶接技術のバーチャルトレーニング「ナップ溶接トレーニング」の体験コーナーが設置されました。



ショベル操作を体験できる「K-DIVE®」シミュレーター

Wind 6 from

オランダ

Netherlands

ヨーロッパ現地法人が本社を移転しました

2025年7月14日、Kobelco Construction Machinery Europe B.V.（以下、KCME）は、オランダ・レリスタットへ本社を移転しました。

今回の移転は、ヨーロッパ市場における事業拡大と業務効率の向上を目的としたものです。新本社の施設内には、最新設備を備えた部品倉庫やトレーニ

ングセンター、整備工場、ショールームを含む技術研修センター、さらに3500㎡の屋外デモエリアも設けられています。

移転に伴う機能の拡大により、ヨーロッパ市場においての長期的な成長戦略を加速させ、製品マーケティングや技術研修の体制を強化することで、販



高速道路に隣接し、アクセスも良い新本社

売店やユーザの皆様に、より大きな価値をお届けしていきます。

読者の広場

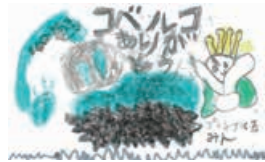
Fun! Fan! コベルコニュース

コベルコニュースへのご意見や、身のまわりで起こったあんなこと、こんなこと。さらに楽しいイラストやすてきな写真など、読者の皆様からのご投稿をご紹介します！

K-D2 PLANNER®の普及に期待

K-D2 PLANNER®は人材不足や熟練者減少、工期短縮、工法の高難度複雑化が求められる時代に効率的に工法検討や機種選択、稼働シミュレーションを行えるシステムだと知りました。普及浸透し、建機クレーン災害がなくなることを願うばかりです。

埼玉県・(株)伸和電機製作所 若尾健太さん



兵庫県・(有)大成組 竹内陽菜乃さん



愛媛県 匿名希望

父の姿を見て建設業界へ

重機やクレーンのオペレータをしていた父の影響もあり、オペ業務ではありませんが、建設業界に進み2018年に独立。2024年からは父と一緒に仕事をしています。これからも無事故、無災害で頑張ります。群馬県・エーシーワールド(株) 今井慶介さん



富山県 匿名希望

グループ初の女性社長

教習所という学びの場において、女性という特性が活かされたのだろうと感じる記事でした。女性社長の誕生は、新しい組織、ひいては社会に進化するためにも必要だと思います。

鳥取県 匿名希望



新潟県 匿名希望

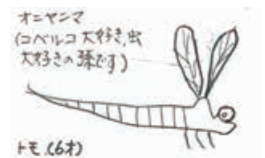


長野県 匿名希望

重機好きの孫

2歳になる孫が重機好きで、コベルコ建機の重機を見て、「アオ、アオ、ゴォー」と言って近くに行くので、写真を撮ってあげています。

北海道・三野建設(株) 三野一寿さん



熊本県 匿名希望

コベルコ建機の重機が一番！

地元で長年オペレータをしてまいりました。自身の手にしっくりなじむ安心感と同時に、コベルコ建機製重機が日々進化する様を実感。いつまでも応援しています。

新潟県・(株)セキヤ東営業所 池田貴志さん

楽しいイラスト、すてきな写真大募集！

読者の広場は皆様からの投稿で構成しています。本誌への感想や、身近で起こったできごとなど、お気軽にお寄せください。また、同時にイラストやお写真も募集しています。採用された方には、すてきなプレゼントを進呈いたします。ぜひご投稿ください。メールでのご投稿もお待ちしております。

※いただいたご意見・ご感想は、誌面掲載の都合により、文意を損なわない範囲で編集させていただきます。あらかじめご了承ください

※メールには、会社名、所在地、電話番号、氏名、匿名希望の方はその旨を必ずご記入ください

※ご投稿いただいた内容は、本誌以外にHP、SNSなどに掲載させていただきます。あらかじめご了承ください

✉ Kobelconews-shm@kobelco.com

公式アカウントで投稿が紹介されるかも

#コベルコのある風景
#コベルコ建機 #コベルコ
Instagram

投稿募集中



PRESENT

[プレゼント]

クロスワードパズル正解者のなかから抽選で次の賞品を進呈いたします。ふるってご応募ください。

A賞

手動玩具 SK135SR

キャブのドアが開閉し、付属の人形を運転席へ乗せることができます。また、レバー操作でアタッチメントが動かせるSK135SRの楽しい玩具です。サイズは、長さ43cm×高さ21cm×幅14.5cm。

5名様

B賞

JBL Wind 3 ポータブルBluetoothスピーカー

屋内外で使いやすい、防水タイプのラジオ付きBluetoothスピーカー。スマートフォンやタブレットとBluetooth接続できるため、アウトドアシーンはもちろんキッチンやお風呂など、室内での使用にもおすすめです。

1名様

C賞

会津慶山焼 丸取っ手ブルーマグ

リズムカルな形と丸い取っ手のフィット感が心地よい、1592(文禄元)年より続く会津慶山焼のマグカップ。足元を支える高台に3本線を彫り込み、堂々とした安定感をもたせながらも軽やかな印象。

3名様

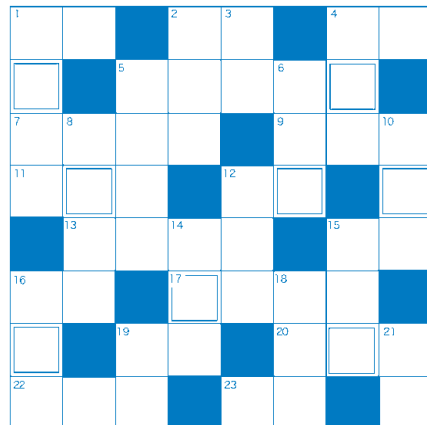
CROSSWORD PUZZLE

[クロスワードパズル]

タテ・ヨコのカギをヒントにマス目を埋めてください。

二重マス目の文字を並べ替えてできた言葉を

専用はがきの解答欄(または、はがき)にご記入ください。



ヒント: 会津と関東をつないだ歴史の面影を今に伝えています

答え:

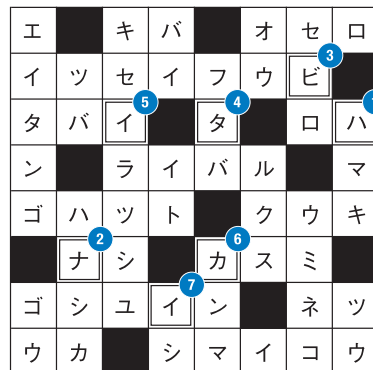
タテのカギ

- 弥生時代、穀物を湿気や害獣から守るために床を高くした「〇〇〇〇式倉庫」
- 物語や歌の冒頭部分。または聞かせどころ
- 僧侶が身につける衣
- 思わずもれるため息
- 相撲の三役の一つで、大関・関脇に次ぐ地位
- お菓子やおつまみの定番「アーモンド」「ピスタチオ」「クルミ」といえば?
- 「〇〇〇〇板」「〇〇〇〇まわし」「〇〇〇〇直し」
- 文章や発表などの本筋だけを抜き出したもの
- 『源氏物語』『万葉集』など、長く読み継がれる伝統的な文学作品
- 「桃」と名はつくが別の果物。酸味があり「李」と書く
- 花嫁が手に持つ花束
- 奈良時代に地名の由来や産物を記した書物。出雲国のものが有名
- あからさまで隠し立てのないさま
- アドリブの妙、しゃれた切り返し。「〇〇に富む」
- とばけて知らないふりをする。こと。「〇〇をきる」

ヨコのカギ

- 日常を離れ、風景や出あいを楽しむ
- 秋に川をのぼって産卵する、北海道名物の魚
- 干支で10番目。「酉」と表記
- 大内宿の住民憲章で定められた三原則「売らない、貸さない、〇〇〇〇」
- 温泉地の風情を感じさせる白い蒸気
- 古歌で「闇もなし」と詠われた、明るい夜のこと
- 黒すぐりとも呼ばれ、カクテルにも使われる果実
- うまくできるようになる。「〇〇をつかむ」
- 敬称なしで名を呼ぶこと
- 鎌倉や戦国の時代に活躍した戦闘の担い手
- 「和〇〇」「洋〇〇」「古〇〇」など、～らしい様子を表す言葉
- 腰を振る独特の歩き方。「〇〇〇〇ウォーク」でも知られる
- 重要な教えを心に刻むこと。「〇〇に銘じる」
- 丸い頭と筒形の胴が特徴。温泉地の土産物としても知られる木の人形
- 辛みと発酵が特徴の韓国の漬物
- 却下、お蔵入り、不採用

Vol.269 クロスワードパズル 正解発表



正解は「ハナビタイカイ」でした。多数のご応募ありがとうございました。

Wチャンスのお知らせ

Vol.267～270に寄せいただいたすべてのはがきを再抽選、50名様に記念品をプレゼントいたします。パズルへのご応募のほか、ご投稿、ご意見など、どうぞお気軽にお寄せください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

編集後記

朝晩の空気に秋の深まりを感じる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今号では、設立20周年を迎えたコベルコ教習所の歩みと、現場の安全を支えるための取り組みを特集しました。eラーニングの導入や危険体感教育の開始、法改正への迅速な対応など、受講者の皆様の視点に立った講習の充実が進められており、柔軟性と多様性の面でも進化を続けています。建設、土木業界を取り巻く環境が変化するなかで、資格取得や安全教育の重要性はますます高まっています。皆様の安全意識や人材育成を考えるきっかけとして、今回の特集が少しでも参考になればうれしく思います。(SA)

コベルコ建設機械ニュース 秋季号 2025年10月 Vol.270

発行:コベルコ建設機械ニュース編集室
企画・編集:日経BP/日経BPコンサルティング/リミックス

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

※ご記入いただいた個人情報、当選者へのプレゼントの発送と読者の広場ページへの掲載以外の目的では使用いたしません

- ご応募の締め切り: 2025年12月5日(金)(消印有効)
- あて先: 〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア5F
コベルコ建機(株)コベルコ建設機械ニュース編集室

[Web応募フォーム]
PC・スマートフォンからも
お気軽にご応募いただけます!

<https://www.kobelco-kenki.co.jp/inquiry/knews/index.php>

